

# 水害BCP（事業継続計画）ガイド

集中豪雨・台風・河川氾濫・浸水被害に備えた事業継続対策

## 1. 水害BCPの基本的考え方

近年の気候変動により、集中豪雨・台風・河川氾濫による水害リスクは全国的に高まっています。国土交通省のハザードマップでは、全国の浸水想定区域が確認できます（国土交通省 ハザードマップポータルサイト: [disaportal.gsi.go.jp](https://disaportal.gsi.go.jp)）。水害BCPの特徴は①事前予測がある程度可能（気象情報・避難指示）、②物理的損壊（建物・設備・在庫の浸水）が主体、③復旧に長期間を要することです。

## 2. 水害BCP 事前対策チェックリスト

- 自社拠点の浸水想定区域・浸水深の確認（国土交通省ハザードマップポータルサイトで確認）
- 重要書類・データのデジタル化とクラウドバックアップ
- 電気設備・サーバーの高所移設（浸水深が想定される場合）
- 止水板・土嚢袋・防水パレットの備蓄
- 代替拠点（本社が浸水した場合のサテライトオフィス・テレワーク）の確保
- 主要顧客・取引先の拠点も浸水リスクを確認し、代替調達ルートを確保
- 従業員の自宅周辺の浸水リスク確認と早期帰宅・避難ルールの策定

## 3. 水害BCP 発生時対応フロー

フェーズ	トリガー（目安）	主要対応
事前準備期	大雨警報・洪水注意報発表	重要書類・PCの高所移動・土嚢設置・テレワーク準備開始
緊急避難期	避難指示・氾濫危険情報	全従業員の早期帰宅・テレワーク移行・設備保護措置
被害確認期	水位低下後	建物・設備・在庫の被害確認・写真記録・保険会社への連絡
応急復旧期	被害確認完了後	清掃・消毒・代替設備調達・顧客への復旧見通し連絡
本格復旧期	設備復旧完了後	通常業務の段階的再開・BCPの見直し・保険申請

参考：国土交通省 ハザードマップポータルサイト [disaportal.gsi.go.jp](https://disaportal.gsi.go.jp) /

内閣府「事業継続ガイドライン」（令和5年3月）[bousai.go.jp](https://bousai.go.jp)（2026-05-28確認） / [template-free.jp](https://template-free.jp)